

## 公益財団法人富徳会 第42回理事会議事録

- 1 日 時 2024年6月7日(金) 午後3時55分～午後5時28分
- 2 会 場 東京都千代田区内神田1-10-6 一世会館ビル シャン・ドウ・ソレイユ 会議室
- 3 理事現在数及び定足数 現在数7名 定足数 4名  
出席理事数 4名  
(出席理事) 小林 健二郎(代表理事・理事長)、柳橋 憲夫(常務理事)  
一戸 達也、西永 英司  
(欠席理事) 江藤 一洋、安井 利一、藤井 一維  
(出席監事) 上林 典子、大橋 常男  
(事務局) 武者 良憲、堤 憲子

### 4 議 案

決議事項・第1号議案：「2023年度事業報告および決算報告承認」の件

・第2号議案：「第15回定時評議員会開催」の件

報告事項 後記の通り

### 5 議事の経過及びその結果

#### (1)定足数の確認等

柳橋常務理事が出席者の確認を行い、理事現在数7名のうち、4名の出席があり定款第41条の規定に定める定足数を満たしており、本理事会が成立する旨を報告した。

#### (2)議案の審議状況及び議決結果等

定款に基づき小林健二郎代表理事が議長となり、本会議の開会を宣した。議事録署名人は定款第44条第2項の規定に基づき、小林代表理事、上林監事及び大橋監事とし、議案の審議に移った。

#### (決議事項)

##### 第1号議案 2023年度事業報告および決算報告承認の件

小林理事長より事業概要について説明がなされ、次いで、議長の指名により柳橋常務理事から資料(2023年度事業報告及び決算報告：2023年4月1日から2024年3月31日まで)に基づいて詳細な説明がなされた。特に、以下の2点について詳細な説明がなされた。

第1点は、研究助成事業の募集において、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した5月以降に応募者が増加し、昨年度は応募が無かった海外歯科保健医療活動助成2件を含めた84件の応募があり、所定の28件の助成と2件の学会奨励助成を行った。また、先の第34回理事会で承認された「フォローアップ助成」については、準備が整い本年6月から募集を開始した。

第2点は、決算報告において、所有の一部の債権で償還があったが、保有株式の配当増と株券の貸借取引の継続により主要な収益源を確保し、予算に対して2,605千円の増収となった。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う、対面での会議の再開やフォローアップ助成の準備費用を考慮した予算計画としたことから、事業費、管理費ともほぼ計画通りで、一般正味財産期末残高は前年より2,390千円増加し、383,536千円となった。

続いて議長の求めに応じて監事を代表して大橋監事より事業報告及び決算報告に関する監査の結果について、同資料13頁記載の監査報告書の内容に基づき報告がなされた。その後質疑が行われ、議長はその可否を諮ったところ、異議なく議案を原案通り出席者全員一致で承認可決した。

##### 第2号議案 第15回定時評議員会開催の件

議長の指名により、柳橋常務理事から、定時評議員会開催日時及び場所並びに目的等につ

いて詳細に説明した。

日 時：2024年6月25日（火）16:00～17:30

場 所：東京都千代田区内神田1-10-6 一世会館ビル

目的である事項等：

- 承認事項・第1号議案 「2023年度事業報告及び決算報告」の承認の件
- ・第2号議案 「任期満了に伴う評議員選任」の件

その後、質疑が行われ、議長はその可否を諮ったところ、異議なく議案を原案通り出席者全員一致で承認可決した。

#### （報告事項）

小林理事長及び柳橋常務理事は、配布した資料に基づき、つぎのとおり詳細に報告した。

##### 1. 代表理事、常務理事の職務執行状況報告

小林代表理事（理事長）からは、社会情勢の変化に対応した財政基盤の強化や助成事業の充実に向けた活動を行っている旨が、柳橋常務理事からは財団の助成事業の認知拡大策と財政状況、の報告がなされ出席者全員が了承した。報告内容は以下の通り。

###### ① 小林代表理事（理事長）の報告

- ・社会情勢の変化に伴い、大学等での研究環境は一層厳しくなっている。この状況に対応して2024年度から「フォローアップ助成」を実施し、資金面や研究者間および研究者と社会とのネットワーク構築など環境面の援助を強化する準備を整えている。

###### ② 柳橋常務理事の報告

- ・当財団の助成事業の認知拡大策として、2023年度から日本口腔衛生学会、日本小児歯科学会および日本歯科衛生学会の学術大会において、助成事業の広報活動を行うとともに、参加者とのコミュニケーションをとるように努めている。
- ・当財団の財政は健全であり、安定的に推移しているが、保有している株式の配当等に大きく依存している。助成事業の充実と継続のため、収益の強化と安定性の両立を目指した資産運用を検討していく。

##### 2. 2024年度研究助成の応募状況

柳橋常務理事から2024年度に応募について、本年度は応募の立ち上がりが遅く、応募の減少が懸念されたが、春の学会終了後に応募が増加し、5月末時点で68件、最終的には72件となる見通しである旨の報告がなされ出席者全員が了承した。

以上をもって、全ての審議並びに報告を終了し、午後5時28分議長は閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席の代表理事及び監事は次に記名押印した。

2024年6月18日

代表理事・理事長

小林 健二郎



監 事

上林 典子



監 事

大橋 常男

